

相生歴史マップ資料 1 ^{な ば の} 那波野古墳

相生市那波野に、全長 10.6m、玄室の奥行 6.7m、高さ 3.3m の切石づくりの横穴式石室が残っています。

相生市では最大、兵庫県下でも屈指の大きな横穴式石室です。墳丘は相当崩れており、およそ直径 30m くらいの円墳であったと思われます。

年代は 7 世紀の中頃とされ、古墳の規模から、被葬者^{ひそうしゃ}はこの地方を支配した相当の有力者であったと考えられています。



国道 2 号線東行きの山陽道龍野西 IC 側道(宇佐美 GS の東)に入ったすぐに看板が出ています。古墳の北側には相生カントリーがすぐ見えます。石室上側の大きな石が重さ数十トンとも言われています。このような巨石を使っていることから大豪族であると言われています。

参照：「ふるさと相生の歴史」著者：島田清

発行者：相生市教育委員会 相生の歴史を考える会

へんさん

「相生市史 第 5 巻」編集：相生市史編纂専門委員会

ひつもと

「日本の古代遺跡 3 兵庫南部」著者：松下 勝、櫃本 誠一

相生市 HP「那波野古墳」